

平成26年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

2015 SGH通信

【1年生配布用】

No33 岐阜県立大垣北高等学校 SGH推進部

日本語論文完成に向けて（振り返りと準備を！）

10月からの「SGH 課題研究 1」では、5領域を選択して探究的な学習を行ってきました。先週から日本語論文を作成し始めましたが、順調良く進んでいる生徒がいる一方で、何かに躓き前に進めない生徒も見受けられました。「何も考えられない」のではなくて、「多くの中から何を選択していくべきか」迷っている生徒が多いように感じられました。

こうした状況を解消するためには、今までの学びを整理統合する作業が不可欠です。「課題研究ファイル」の中身を整理しながら、学びの軌跡を整理する時間をとってみてください。このポートフォリオの営みこそ、研究を進化（深化）させていくために最も重要な段階の一つです。

【パラグラフライティング等の言語技術】10月からは、パラグラフライティング等の言語技術とともに、論文を書く際



の注意事項を学ぶことができました。今回の論文は、自分たちが研究してきた成果を、対象国の高校生に伝える気持ちで書いてください。「アジアの持続可能性に資する」という共通タイトルの意味も今一度思い出しましょう。日本人を含むアジアの人々皆が、現在生きている我々だけではなく子々孫々まで、幸せに暮らすための提案を行うことが、一番大きな目的です。今まで学んだ言語技術をフル活用して、目的達成に向けて頑張ってください。

【5領域入門講座】5領域選択のきっかけであったとともに、一つの領域の専門家である大学の先生から、大学生レベルの学びに触れることができた貴重な経験であったと思います。もう一度、資料や学習シートを見直すことで、その時学んだ知識と学び方の知識が蘇ってくることと思います。今の段階だからこそ、学問研究の取組み姿勢が理解出来るのではないのでしょうか。



【留学生へのインタビュー】



決して英会話の練習として行った訳ではありません。自分が聞き取れなかった点や理解できなかった点は、グループでシェアできていると思います。書かれたメモを読み直して、その言葉をどのように論文に活かしていくか、またその言葉から閃いたことで今後何を調べていくか、留学生の言葉を思い出して大切に活用してください。十分に活用することこそが、母国語でない言語（英語）で一生懸命答えてくださった留学生への敬意を表す行為だと考えています。

【大学院生へのインタビュー】リサーチクエストの妥当性や研究方法について、グループで考えた質問をぶつけ、そして今まさに研究に取り組んでいる大学院の皆さんにお答えをいただきました。また、何を調べれば良いかを具体的に聞き出すことが出来たグループも多かったと思います。書く時間と調べる時間のメリハリを付けて、前に進めていきましょう。



留学生の皆さんから、こんなエールをいただいています！

- 他の国について学んだり、知ったりすることを決して諦めないこと。そうすれば、より良い質の援助が考えられるようになるでしょう。
- 英語で、かなり難解な研究を忍耐強く続けている生徒の姿は、尊敬せざるを得ない。これは、北高生が自分の限界を超えていくことを意味し、かつ大垣北高校が良い人的資源を育てている兆候だと思う。
- 生徒は、発展途上国のみならず、先進国に対しても意欲的に知ろうとすべきだろう。そうすれば、教育や経済、その他の社会的問題について比較をすることができるだろう。
- 生徒はこのSGHプログラムの目的は何であるかに気付きはじめている。その証拠に今日のインタビューは（9月に比べて）積極的だった。



大学院生からは、こんなエールをいただいています！

- 今日担当したグループのテーマはとても面白かった。調べた結果を是非読んでみたい。調べることは大変だけど、分かることは楽しいので、頑張ってください。
- 大学生より良くできるグループも見られましたので、自分の力を信じて進んでください。
- 答えのない課題に対する取り組みは今後の人生で必ず役立ちます。悩み、考え、決断して困難を乗り越えてください。
- 皆さんからいただいた質問は、いい質問ばかりです。自分のやることを明確にして勉強すれば、必ず良い論文が書けると思います。
- よく勉強していて素晴らしいと思いました。高校生のうちにこういった機会をもてることは幸せなことです。頑張ってください。



大学の先生方からも、温かい励ましの言葉をいただいています！

- 皆さんがSGHでやっていることは、私たち研究者が毎日苦しみながらやっていることです。ぜひ研究者になったつもりで、自分の言いたいことを、ルールに則って言ってみましょう！ その暁には、研究の楽しさや面白さを実感できるはずです。
- こちらの説明を聞いて、既習知識を活用して解答されようとしていますね。自ら調べ、調べて得た知識を活用できるよう、もう少し自己探求なさってください。
- 幅広い視野を持ち、オリジナリティーに富んだ論文を書き上げてください！
- 自分が知りたいと思うことを研究していくことで、「学習」の楽しさを感じてください。皆さんの視点からの論文が完成することを期待しています。

